

第2部 ごみ対策のこれから

②流域環境を見守る仕組みを考える

話題提供 風間 ふたば

山梨大学名誉教授

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

Yamanashiみずネット代表

話題提供の趣旨

私達はどんな水環境を望んでいるのか？

様々な視点から行われている活動の先に一貫性を持った市民活動の動きを作れるか？

日本の河川をめぐる過去や水環境(流域環境)を見る視点を振り返りながら、これからを考えたい

市民レベルにおける水環境を捉える活動視点

水質・・・身近な水環境の全国一斉調査

・廃棄物・・・ゴミマップ

・生物の棲息場としての水環境・・・総合的な水環境指標 「みずしるべ」

・防災視点の水環境 流域管理

行政レベルでの環境認識

・第六次環境基本計画

・流域治水

身近な水環境の 全国一斉調査

●● 笑顔でつなくゆたかな水辺 ●●

第20回
調査結果概要

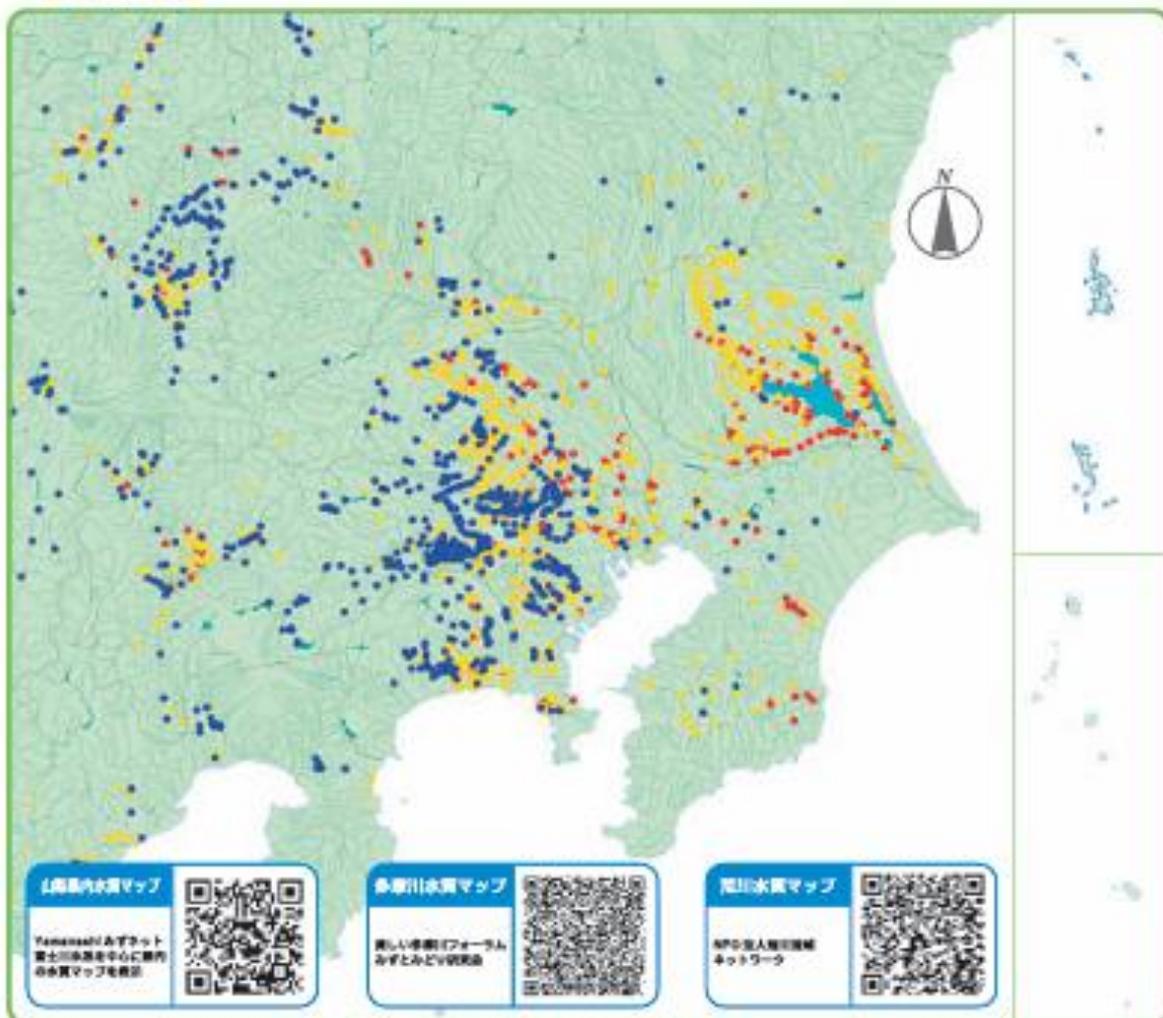
2023



身近な水環境の全国一斉調査
第20回 June 4, 2023

関東地方

凡例 ● COD 0 ~ 3mgO/L未満
● COD 3 ~ 6mgO/L未満
● COD 6mgO/L以上



目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査データの流れ	P.4
2023 全国水環境マップ 第20回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方 P.7	近畿地方 P.12
東北地方 P.8	中国地方 P.13
関東地方 P.9	四国地方 P.14
北陸地方 P.10	九州・沖縄地方 P.15
中部地方 P.11	
V 20周年記念企画「調査地点・調査河川の昔・今」	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第20回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお願い	P.21
第21回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会



みんなで川へ行ってみよう！

はじめに：

この「水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）」は、川の自然なすがた、生き物、水のきれいさ、快適さ、普段の生活での利用など、の視点から川を取り巻く環境を調べる際に活用できる指標です。

この指標を活用することで、多様な視点から川などの水環境を見ることを学ぶことができます。学校での総合学習や住民・NPO等の環境学習において、地域に根ざした環境学習を行う際のツールとして使用していただきますようお願いいたします。

水辺のすこやかさ指標（みずしるべ） 作成の基本的方針

子どもたちが水環境への関心を抱くような楽しく、分かりやすい内容とすること。

身近な水辺を対象とし、子どもたちが中心となって、地域の住民・NPOの方々とも一緒に活用できる内容とすること。

調査結果が環境学習（理科・総合学習や地域の環境学習等）にも活用できる内容とすること。



5つの指標（ものさし）



自然なすがた：

水環境に自然がどのくらい残されているかをあらわします。



ゆたかな生きもの：

水環境にいる生きものの豊かさをあらわします。



水のきれいさ：

水のきれいさ、清らかさをあらわします。



快適な水辺：

水環境のきれいさや静かさを、人の感じかたで調べます。



地域とのつながり：

水環境と人とのつながりをあらわします。



